



企画広報課 ☎66♦1145

夢を叶えた NTJおじさん

昨年10月の市広報に、市制60年にふさわしい記念事業を募集します〃を見て、すぐヒラメキました。それは、私が30年以上続けてきたアマチュア無線に関するもので、「市制60周年記念QSLカードを発行する」という提案です。大好きな無線を腹いっぱい楽しんで、我が街・蒲郡市をPRできるからです。

さて、もう少しご説明いたします。アマチュア無線家(ハム)は、交信すると交信証(QSLカード)を交換します。しかし、総務省から特別に免許された蒲郡市制60周年記念局8J2GAMAでは、交信をした世界中の相手局に美しい記念QSLカードをお届けすることができます。記念QSLカード

は特に人気が高く、交信を希望する局から呼ばれ続けますのでオペレーターを交代しつつ頑張ります。

最近ハムの活動が低調になっていますので市内の多くのハムに呼びかけて、いま蒲郡で無線が熱い〃の状況を創る。市制60周年の記念局誘致は私の長年の夢でもあり、多くの同志からアドバイスと積極的な参加応援をいただいて実現いたしました。このマニアックな企画をご理解いただき全面的支援をいただいた市当局には感謝いたします。

「どうしても、やりたい」の一念は見事に実り、カードデザインは竹島海岸に咲いた巨大花火に、1stQSO(開局第一声)を稲葉市長さまにお願いできたことは、この上ない幸せです。おじさんの夢が叶った瞬間でした。

市制60周年特別局公開運用

とき 7月19日(日)
午前9時〜11時、午後1時〜3時
ところ 蒲郡小頭 海王丸寄港会場
※会場には入場証が必要です。詳しくは3ページをご覧ください。
※今後もイベントなどで公開運用を行ってまいります。

問合せ先

小田(☎090♦66033♦50801)



芸員 平野 仁也

博物館 ☎68♦1881

「白砂青松」という言葉があります。

波うちぎわに沿って続く白い砂浜と、青々と茂る松の林―かつての蒲郡では、このような美しい風景がみられたものでした。

蒲郡駅の南あたりは「恋の松原」と呼ばれ、あたり一面に松が生い茂っていました。その美しさは昔から特によく知られ、『三河国名所図会』などさまざまな書物にも取り上げられました。

「恋の松原」の松は、蒲郡の地を開発し、当地をこよなく愛したという藤原俊成卿(一一一四年―一二〇四年)の命によって植えられたものという伝承が残っています。

永正十年(一五二三年)、今から500年ほど昔のこと、冷泉家の当主・冷泉為広さん―この方は俊成卿か

～恋の松原と冷泉家～

ら数えて九代後の子孫の方です―は、京都から、はるばる駿河(現在の静岡県)を目指して旅に出ました。

為広さんは、伊勢から知多半島を経て、三河の大浜(現在の碧南市)に至り、吉良を通って、幡豆から舟に乗りました。そして、蒲郡付近を舟で通りかかった際、海岸の見事な松原を目にして一首詠んでいきます。

たが胸の 思いのなげき

たきそめて

煙名たかき 恋の松原
為広さんが目にした恋の松原は、思わず歌を詠んでしまうぐらい美しいものだったのでしょうか。(なお和歌の表記は一部現代風に改めています)

現在、たび重なる埋め立てや、港湾の整備などによって、海岸の松はほとんど姿を消してしまいました。松はほとんど姿を消してしまいました。松はほとんど姿を消してしまいました。松の昔をもの語る貴重な自然遺産といえるでしょう。



海岸付近の二本松(栄町 昭和20年代)